

09:50-11:50 分科会 A① 代表者：王柳蘭（京都大学白眉センター／地域研究統合情報センター）
多元的結合と下からの共生—アジアにおける移民・難民の視点から

A01 趣旨説明

A02 中山大将（京都大学地域研究統合情報センター）

樺太・サハリンにおけるエスニック・グループ間関係—記憶の中の共生

A03 山田孝子（京都大学）

難民社会にみるホスト社会との共生戦略—トロント・チベット人社会の事例より

A04 王柳蘭（京都大学白眉センター／地域研究統合情報センター）

「脱難民化」へ向けた多元的結合の動態—タイ・ミャンマー国境の漢人、ムスリムの比較から

A05 加藤裕美（京都大学白眉センター／東南アジア研究所）

マレーシアにおけるインドネシア人移民の多元的結合と共同性の創出

コメンテータ：久保忠行（大妻女子大学）

13:00-15:00 分科会 A② 代表者：伊藤泰信（北陸先端科学技術大学院大学（JAIST））
人類学教育と応答性—人類学者の再生産モデルを超えて

A06 趣旨説明

A07 飯嶋秀治（九州大学大学院）

想定外の事態のなかの応答性—児童の社会的養護の現場から

A08 関根久雄（筑波大学）

多分野における応答性—「ダイバーシティ・マネジメント」教育における人類学

A09 内藤直樹（徳島大学）

大学の地域貢献をめぐる人類学の応答性—地方大学におけるフィールド教育の現場から

A10 伊藤泰信（北陸先端科学技術大学院大学（JAIST））

社会人・企業人教育と応答性—非人類学的エスノグラフィとの関係から考える

コメンテータ：亀井伸孝（愛知県立大学）、飯田淳子（川崎医療福祉大学）、佐々木伸一（京都外国語大学）

B会場（さくら東） 第一日目 5月30日（土）

09:25-11:50 分科会 B① 代表者：尾崎孝宏（鹿児島大学法文学部）

現代牧畜民社会における牧畜戦略の多様化要因についてーモンゴル高原を中心に

B01 趣旨説明

B02 風戸真理（北星学園大学短期大学部）

畜糞の多角的利用と自然・社会環境ーモンゴル国・中国・カザフスタン共和国の比較より

B03 辛嶋博善（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）

どこの誰が家畜管理を担うのか？ーモンゴル国東部牧畜社会における居住単位と家畜管理にみる牧畜戦略

B04 尾崎孝宏（鹿児島大学法文学部）

南モンゴルにおける牧畜戦略の空間分布ー中国内モンゴル自治区四子王旗の事例を中心として

B05 富田敬大（立命館大学）

モンゴル国の都市近郊における牧畜戦略と乳製品の生産・販売

B06 上村明（東京外国語大学）

ポスト社会主義以降のモンゴル国の牧畜経営ー新しい分析の枠組みを考える

13:00-15:00 分科会 B② 代表者：高倉浩樹（東北大学）

福島原発事故と放射能災害の人類学

B07 趣旨説明

B08 山口睦（亜細亜大学）

県境をこえたもの、こえなかったものー宮城県丸森町筆甫地区を事例として

B09 植田今日子（東北学院大学）

放射能汚染が耕作者に問うことー福島県二本松市東和地区にみる“除染”のアポリア

B10 関谷雄一（東京大学）

見えない恐怖・迫りくる欠乏への不安と向き合う人々ー福島原発事故と放射能災害の人類学 分科会報告

B11 辰巳頼子（清泉女子大学）

放射線被害からの広域避難の調査研究にむけてー東京都内の母子避難者の事例から

コメンテータ：ギル・トム（明治学院大学）

C会場（さくら西） 第一日目 5月30日（土）

09:50-11:50 分科会 C① 代表者：山口裕子（北九州市立大学）

「国家英雄」認定に見る地方と民族の現在—ポスト・スハルト期インドネシアの事例から

C01 趣旨説明

C02 中野麻衣子（東洋英和女学院大学）

反転像として立ち上がる「真の英雄」像—認定取り消しを求められたバリ人国家英雄をめぐる

C03 津田浩司（東京大学）

ポスト・スハルト期の歴史記述と国家英雄制度

C04 山口裕子（北九州市立大学）

未完のファミリー・アルバム—周辺的地方社会における国家英雄制度の現在

C05 金子正徳（国立民族学博物館）

「地域英雄」の誕生と「地域」社会建設—インドネシア共和国・ランブン州の事例

コメンテータ：加藤剛（京都大学）、森田良成（大阪大学大学院）

13:00-15:00 分科会 C② 代表者：岩佐光広（高知大学）

東南アジアにおける高齢者の「新たな暮らし」とケアの価値と規範の変容

C06 趣旨説明

C07 速水洋子（京都大学）

東南アジアからケアを考える—北タイ山地における高齢者の居住形態の事例より

C08 合地幸子（東京外国語大学大学院）

老親扶養をめぐる規範を問い直す—インドネシア・ジョグジャカルタにおける高齢者福祉施設の事例から

C09 岩佐光広（高知大学）

マゴ育てと老親扶養—ラオス低地農村部における高齢期の新たな役割とケアの価値の変化

C10 加藤敦典（東京大学）

霊をケアする母親たち—むらでの独居を選択するベトナムの高齢女性

コメンテータ：青木恵理子（龍谷大学）

D会場（会議室A・B） 第一日目 5月30日（土）

- 09:00-9:20 D01 **伊藤渚**（総合研究大学院大学）
贈られる織物—ラオス北東部フアパン県サムヌア・サムタイ地方の事例から
- 09:25-9:45 D02 **渋谷節子**（星槎大学）
ベトナム・メコンデルタの開拓史に関する研究—カイバー県の歴史におけるクメール人とベトナム人の古民家の位置づけ
- 09:50-10:10 D03 **難波美芸**（一橋大学）
国境インフラストラクチャーとしてのメコン河—国境を国境たらしめる物質的基盤とその限界
- 10:15-10:35 D04 **日野智豪**（早稲田大学人間科学学術院）
「薬」が包摂するコミュニティ—北部タイ農村における HIV/AIDS 治療を事例として
- 10:40-11:00 D05 **二文字屋脩**（首都大学東京大学院）
お前次第—ポスト遊動狩猟採集民・ムラブリの社会関係にみる癒着と乖離
- 11:05-11:25 D06 **吉野晃**（東京学藝大学）
〈歌〉の詠唱法と儀礼への応用—タイ北部、ユーミエン(ヤオ)社会における新たな宗教現象に関する中間報告 3
- 11:30-11:50 D07 **片岡樹**（京都大学）
架空の言語と架空の識字力？—タイ国における大乘系漢文經典の知識

-
- 13:00-13:20 D08 **角南聡一郎**（公益財団法人元興寺文化財研究所）
台湾ヤミ族の土偶—用途と造形をめぐって
- 13:25-13:45 D09 **山西弘朗**（東京外国語大学）
台湾における自然災害と先住民村落—モーラコット台風復興過程におけるリスク評価と移住政策について
- 13:50-14:10 D10 **上水流久彦**（県立広島大学）
台湾の植民地期建築物をめぐる植民地経験の多相化—韓国・旧南洋群島との比較から
- 14:15-14:35 D11 **沼崎一郎**（東北大学）
「日本人」の台湾研究者は日本の帝国的過去とどう向き合うべきか—ポストインペリアルイズムの視座
- 14:40-15:00 D12 **中生勝美**（桜美林大学）
ナチスドイツの民族学—岡正雄の民族研究所構想との関連で

E会場（会議室C・D） 第一日目 5月30日（土）

- 09:00-9:20 E01 砂井紫里（早稲田大学）
清真とハラールのゆらぎ—清真の制度化および中国福建省の穆斯林と非Muslimの食実践
- 09:25-9:45 E02 荒木亮（首都大学東京大学院）
オブジェクト化されたイスラームをめぐる言説と語り—インドネシアにおけるジ
ルブupp言説の広まりと「イスラーム的なもの」の所在
- 09:50-10:10 E03 外川昌彦（広島大学）
バングラデシュの国民統合とイスラーム—シャハバグ運動とポストコロニアルの
二重拘束
- 10:15-10:35 E04 椿原敦子（国立民族学博物館）
「感性の規律化」論に基づく感情の記述の可能性—イランの宗教儀礼におけるマッ
ダーフを事例に
- 10:40-11:00 E05 大坪玲子（東京大学）
浮気できない人々—イエメンの地方都市におけるカート商人の比較
- 11:05-11:25 E06 佐島隆（大阪国際大学）
トルコ共和国ハジュベクタシ町におけるクルバン（犠牲）—アレヴィー・ベクタシ
の文化および願かけを中心に
- 11:30-11:50 E07 岡戸真幸（上智大学）
個人基点の多場所型ネットワークの構築—エジプトからクウェートへの出稼ぎ者
の事例から
-
- 13:00-13:20 E08 大場千景（大阪府立大学／日本学術振興会特別研究員 PD）
寓話的伝承に内在する歴史と歴史意識—エチオピア北部オロモ系農耕民ライヤに
おける移住物語を事例として
- 13:25-13:45 E09 近藤有希子（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）
沈黙への応答—ルワンダ農村社会で曖昧なカテゴリーを生きぬくために
- 13:50-14:10 E10 中原聖乃（中京大学社会科学研究所）
被ばくを説明する「ことば」—マーシャル諸島核実験被害賠償問題をめぐって
- 14:15-14:35 E11 吉村美和（京都大学大学院人間・環境学研究科）
民族における性暴力の経験と記憶—コソボ紛争時のアルバニア人女性被害者の事
例から
- 14:40-15:00 E12 高誠晩（京都大学大学院文学研究科）
大量虐殺以後の家系記録—台湾二二八事件にまつわる南西諸島出身の行方不明者
の事例から

F 会場（会議室 1・2） 第一日目 5月30日（土）

- 09:25-09:45 F01 **上杉妙子**（専修大学）
兵士の男性性と婚姻区分(marital status) —19世紀植民地インドにおける英国人兵士に対する結婚許可制限
- 09:50-10:10 F02 **中屋敷千尋**（京都大学大学院）
民主化過程における階層制度—北インド・チベット系社会スピティ溪谷における階層リグの事例から
- 10:15-10:35 F03 **東聖子**（早稲田大学人間科学学術院）
移民の生活とモビリティ—スィク教徒移民のトランスローカルな生活世界形成とモビリティ
- 10:40-11:00 F04 **飯塚真弓**（京都大学大学院人間・環境学研究科）
神々がつなぐ未来—南インドのヒンドゥー寺院司祭集団の通過儀礼を事例に
- 11:05-11:25 F05 **梅村絢美**（京都大学人文科学研究所・日本学術振興会特別研究員 PD）
布施としての診療—スリランカ伝承医療の出家者に対する診療をめぐる
- 11:30-11:50 F06 **小林正史**（北陸学院大学）
南アジアの伝統的土器作りにおける男女の分業—スリランカ中部地方を中心として
-
- 13:00-13:20 F07 **Ksenia Golovina** (The University of Tokyo)
Japanese Husbands of Russian Female Migrants in Japan—On Issues of Cosmopolitanism and Multiculturalism
- 13:25-13:45 F08 **松本尚之**（横浜国立大学）
日本で「黒人」として生きる—ポピュラー文化のグローカル化と在日ナイジェリア人
- 13:50-14:10 F09 **神本秀爾**（大阪物療大学）
宗教ではなく生き方を実践する—日本人のラストファーライ実践者の意識について
- 14:15-14:35 F10 **井上淳生**（北海道大学大学院文学研究科）
ダンス空間における「正しい」踊りかたと身体—日本の社交ダンスにみる身体の規格化
- 14:40-15:00 F11 **熊田陽子**（首都大学東京／日本学術振興会）
「笑い」と「共同の想像体／態」—東京都市部の SM クラブにみる性・身体・関係性構築の問題系をめぐる

G会場（会議室3・4） 第一日目 5月30日（土）

- 09:25-09:45 G01 堂下恵（多摩大学グローバルスタディーズ学部）
グローバリゼーションの新たな視座の検討―世界遺産「コーンウォールと西デヴォンの鉱山景観」の事例より
- 09:50-10:10 G02 矢島妙子（明治大学法と社会科学研究所）
地域表象実践の現在―グローバル化時代のローカリティ表出
- 10:15-10:35 G03 大野哲也（桐蔭横浜大学）
現代日本社会における「冒険」の人類学的考察―「危険」の商品化と「冒険」の大衆化
- 10:40-11:00 G04 田中英資（福岡女学院大学）
遺産と人々の協働―トルコ南西部パターラ遺跡とキビラ遺跡の事例から
- 11:05-11:25 G05 中朋美（鳥取大学）
消費、貯蓄、投資といったお金と信仰をめぐる議論―アメリカのコンサーバティブ・メノナイトの事例から
- 11:30-11:50 G06 中村八重（韓国・啓明大学校）
路地裏の「近代」観光―韓国地方自治体の観光コース開発の事例から
-
- 13:00-13:20 G07 新本万里子（国立民族学博物館）
月経に対する羞恥心の誕生―パプアニューギニア・アベラム社会における月経処置法の伝承者の変化から
- 13:25-13:45 G08 山本真鳥（法政大学）
グローバル化する儀礼交換と儀礼財の変容―サモア独立国のケーススタディ
- 13:50-14:10 G09 山内由理子（東京外国語大学）
語られるルーツと語られないルーツ―先住民コスモポリタニズムとシドニー南西部郊外のオーストラリア先住民
- 14:15-14:35 G10 平野智佳子（神戸大学・日本学術振興会特別研究員）
オーストラリア北部準州アリススプリングスの飲酒規制へのアボリジニの対応―アボリジニコミュニティから地方都市に流入する人々の事例から

H会場（銀杏） 第一日目 5月30日（土）

- 13:00-13:20 H01 岩谷洋史（国立民族学博物館）
人類学的研究におけるフォト・エスノグラフィーの可能性
- 13:25-13:45 H02 リー＝ペレス・ファビオ（東北大学）
「多文化をさすらう人」のライフ・ストーリー研究—コスモポリタニズムの人類学の試み
- 13:50-14:10 H03 宮内壽美（明治大学大学院政治経済学研究科）
個別インタビューの内省補助に関する報告—ハワイの茶道グループ調査を事例として
- 14:15-14:35 H04 中川敏（大阪大学）
人類学的引用論

A会場（小ホール） 第二日目 5月31日（日）

09:25-11:50 分科会 A③ 代表者：田中雅一（京都大学）

名誉に基づく暴力

A11 趣旨説明

A12 和崎聖日（京都大学地域研究統合情報センター）

名誉をめぐる暴力と社会—ウズベキスタンのソヴィエト近代史と日常性の探求から

A13 岩谷彩子（広島大学）

交渉される名誉（timi）—ギリシャのロマ社会における貞操とコンフリクト

A14 嶺崎寛子（愛知教育大学）

「名誉と暴力」現象における「醜聞の露見」の意味—エジプトの宗教言説を事例として

A15 村上薫（アジア経済研究所）

トルコにおけるナムスの暴力—支配、保護、帰属の連続性をめぐって

A16 赤堀雅幸（上智大学）

エジプト西部砂漠のベドウィンにみる血讐と名誉殺人—名誉に基づく暴力の行使・抑止・和解

コメンテータ：辻上奈美江（東京大学）

15:30-17:30 分科会 A④ 代表者：松岡悦子（奈良女子大学）

アジアにおけるリプロダクションの近代化と女性の健康

A17 趣旨説明

A18 松岡悦子（奈良女子大学）

韓国の医療化された出産—圧縮された近代との関連で

A19 曾環蕙（奈良女子大学大学院）

台湾における産後の養生と女性の身体

A20 安サンサン（奈良女子大学大学院）

中国における出産の医療化と女性の満足—出産体験のある女性の事例から

A21 嶋澤恭子（神戸市看護大学）

女性の健康と経験を繋ぐ—ラオス南部における産後養生

コメンテータ：松尾瑞穂（国立民族学博物館）

B会場（さくら東） 第二日目 5月31日（日）

09:25-11:50 分科会 B③ 代表者：池田光穂（大阪大学）

文化空間において我々が犬と出会うとき—狗類学（こうるいがく）への招待

B12 趣旨説明

B13 奥野克巳（桜美林大学）

プナンのイヌ—人の道具でもあり、人に近い非人間

B14 山田仁史（東北大学）

犬肉食をめぐるタブーとアイデンティティ

B15 池田光穂（大阪大学）

独自なるものとしてのショロイツクイントゥリー—謎めいた呪術的存在からユニークなペット犬へ

B16 大石高典（総合地球環境学研究所）

カメルーンの狩猟採集民バカと犬—狩猟をつうじた生態学的なニッチ構築とその重層的な文化化

B17 石倉敏明（秋田公立美術大学）

社会の内なる野生—宇宙論の「境界」を更新するイヌとオオカミ

コメンテータ：栗田博之（東京外国語大学）

15:30-17:30 分科会 B④ 代表者：玉城毅（奈良県立大学）

台風に対応する社会と文化—沖縄・奄美・台湾の比較研究

B18 趣旨説明

B19 玉城毅（奈良県立大学）

台風とのつきあい方—沖縄における台風による家屋被害と家づくりの慣習

B20 山田浩世（日本学術振興会特別研究員 PD）

前近代の沖縄における災害と土地の「親疎無き」配分—「伝統的」相互扶助の成立背景

B21 西村一之（日本女子大学）

台湾東海岸における台風の影響とその対応—先住民アミの家屋形態と社会の変化から

B22 藤川美代子（南山大学人類学研究所）

台風の被害を受け止めるシマー奄美群島における家屋の変遷と社会の変化

コメンテータ：上水流久彦（県立広島大学）

C会場（さくら西） 第二日目 5月31日（日）

09:25-11:50 分科会 C③ 代表者：浜田明範（国立民族学博物館）

再分配研究の再始動—行為から集団の生成を考える

C11 趣旨説明

C12 友松夕香（東京大学）

家計論再考—ガーナ北部・西ダゴンバ地域の「家」における再分配

C13 河野正治（筑波大学大学院人文社会科学研究科）

儀礼的再分配を通じた「村」の構築—ミクロネシア連邦ポーンペイの首長制を事例として

C14 高橋慶介（敬愛大学）

ブラジルにおける「条件付き所得移転」の受給者とスティグマ—バイア州ヘコンカヴォ地方での「ボウサ・ファミリア」の受給過程と受給の語りの考察を通して

C15 西垣有（関西大学）

ポスト社会主義の再分配—カール・ポランニーを再活用する

C16 高橋絵里香（千葉大学）

入居者決定のホリズム—福祉国家再編期のフィンランドにみる施設介護の分配

コメンテータ：真島一郎（東京外国語大学）

15:30-17:30 分科会 C④ 代表者：木村周平（筑波大学）

一時性の人類学

C17 趣旨説明

C18 木村周平（筑波大学）

「終わり」に抗して—「復興」を作り上げる複数の時間性

C19 ベル裕紀（東京大学大学院）

一時性の認識、＜永続性＞という想像—韓国におけるカンボジア人移住労働者団体設立を事例に

C20 丹羽朋子

民族誌的「展示」が内包する複数の時間性—映像インスタレーションを用いたフィールドワーク展を事例に

C21 土井清美（青山学院女子短期大学）

徒歩の旅を構成する日常性—スペイン・サンティアゴへの道における散策的側面に着目して

コメンテータ：春日直樹（一橋大学）

D会場（会議室A・B） 第二日目 5月31日（日）

- 09:00-9:20 D13 日丸美彦（愛知県立大学）
伝統文化の再生と先住民族の教育—ルソン島北部山岳地域ハパオ村の伝統祭礼ブン
ノクの復活
- 09:25-9:45 D14 三浦哲也（育英短期大学）
酒がとりもつ人間関係—東マレーシア・ドゥスン族社会の酒宴から
- 09:50-10:10 D15 青木恵理子（龍谷大学）
「無原罪の聖母」と「キリストの花嫁」のエクスタシー—宗教現象理解のための試
論
- 10:15-10:35 D16 吉田ゆか子（国立民族学博物館・日本学術振興会）
特異な身体をめぐる遊戯—バリ島の演劇における「障害」の模倣表現とその受容
- 10:40-11:00 D17 野澤暁子（名古屋大学大学院文学研究科）
音楽映像化をめぐる〈記録〉と〈伝承〉の交渉—バリ島の聖なる鉄琴・スロンディ
ンの撮影プロジェクトより
- 11:05-11:25 D18 増野亜子（東京芸術大学）
バリ島ググンタンガン合奏における間身体性の構築—歌芝居アルジャにおける役者
と音楽家の事例から
- 11:30-11:50 D19 吉田竹也（南山大学）
ギアツからヴェーバーへ—バリ宗教合理化論の再考
-
- 15:30-15:50 D20 西真如（京都大学）
釜ヶ崎で死際を託される—訪問看護ステーションひなたの活動と看取り
- 15:55-16:15 D21 杉本敦（東北大学）
老親ケアにみる家族の理念と実態—ルーマニア・トランシルヴァニア山村の事例か
ら
- 16:20-16:40 D22 中谷和人（京都大学・日本学術振興会）
物語る私のドローイング—ある「多重障害者」の線の一生
- 16:45-17:05 D23 亀井伸孝（愛知県立大学）
言語と身体の資源人類学—ポスト・フォスター期の西・中部アフリカろう者コミュ
ニティ動態史
- 17:10-17:30 D24 佐野文哉（京都大学大学院・日本学術振興会）
カテゴリー化に抗する手話／カテゴリー化する手話—フィジーにおける障害児学校
およびろう者コミュニティを事例に

E会場（会議室C・D） 第二日目 5月31日（日）

- 09:25-09:45 E13 細谷広美（成蹊大学）
グローバル・ジャスティスとコロニアル・レガシー
- 09:50-10:10 E14 早川和哉（九州大学大学院地球社会統合科学府）
知的財産権制度下におけるハワイ先住民の文化と権利—Reece v Island Treasure Art Gallery, Inc. et al 事件を事例に
- 10:15-10:35 E15 関口由彦（成城大学民俗学研究所）
人種化に抗する血／系譜／地域—北海道日高地方におけるアイヌ文化伝承活動の歩みから
- 10:40-11:00 E16 浜口尚（園田学園女子大学短期大学部）
厄災としてのホエール・ウォッチング—外圧に揺れる捕鯨の島・ベクウェイ島
- 11:05-11:25 E17 岸上伸啓（国立民族学博物館・総合研究大学院大学）
アラスカ・イヌピット社会における使者祭りの変化と現状について
- 11:30-11:50 E18 一戸恒人（京都大学大学院人間・環境学研究科）
サイベリアン・ユピックの狩猟活動における場所の認識—風土論の観点から
-
- 15:30-15:50 E19 細田尚美（香川大学）
UAE 在住フィリピン人中間層とボランティア活動—流動的な社会でみられる親密性と公共性に関する一考察
- 15:55-16:15 E20 渡邊暁子（文教大学）
フィリピン人イスラーム改宗女性にみる親密なつながりの変容—国際結婚者と家事労働者の事例から
- 16:20-16:40 E21 松川恭子（甲南大学）
「第二の故郷」としての湾岸アラブ諸国？—インド、ゴア・クリスチ안의トランスナショナル・ネットワーク
- 16:45-17:05 E22 山越英嗣（早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程）
サブカルチャーによるナショナルヒストリーの読み替え—メキシコ・オアハカ州のストリートアーティストを事例として
- 17:10-17:30 E23 山内熱人（京都大学）
共同体的フィエスタの個人性—メキシコ、オアハカ州先住民農村の事例より

F 会場（会議室 1・2） 第二日目 5月31日（日）

- 09:00-09:20 F12 小西信義（北海道大学大学院文学研究科）
雪かきボランティアにおける互惠性をめぐる非対称性—お返しを求めない支援者と
お返しを渡したい被支援者
- 09:25-09:45 F13 井上敏昭（城西国際大学福祉総合学部）
福祉専門職の養成教育における文化人類学の可能性
- 09:50-10:10 F14 佐藤悦子（岩手大学地域防災研究センター）
被災地の女性たちが集まる場—宮古市 T 地区を事例に
- 10:15-10:35 F15 鈴木七美（国立民族学博物館・総合研究大学院大学）
多世代共生「エイジ・フレンドリー・コミュニティ」構想と実践の課題—エイジン
グ・イン・プレイスと時空間共有に向けたレジリエンス
- 10:40-11:00 F16 加藤英明（南山大学大学院人間文化研究科人類学専攻博士後期課程）
自動車製造に関わる機械工の技術的实践—金属切削加工を営む愛知県の小規模工
場を事例に
- 11:05-11:25 F17 権允義（大阪大学大学院）
一つの森、二つの話—梶原町の訴訟事件を通してみる森林資源統治の民族誌的研究
- 11:30-11:50 F18 山崎真之（早稲田大学大学院人間科学研究科）
小笠原新島民らがもたらす文化変容—父島・母島の新たな生業の事例を中心に
-
- 15:30-15:50 F19 黄蘊（関西学院大）
仏教徒にみる親密性と公共性のあり方—マレーシアにおける上座仏教団体と上座
仏教徒の実践から
- 15:55-16:15 F20 伏木香織（大正大学）
親密性／公共性に向かうベクトルの交錯する場—シンガポールにおける宗教集団
の実践
- 16:20-16:40 F21 櫻田涼子（育英短期大学）
セイフティネットとしての〈公共〉—マレーシア華人の儀礼コミュニティを中心と
した自発的結社慈善活動について
- 16:45-17:05 F22 佐本英規（筑波大学大学院人文社会科学研究科）
音楽をめぐる交換関係の動態と多国籍音楽産業—ソロモン諸島アレアレにおける竹
製パンパイプ演奏集団の事例から
- 17:10-1:30 F23 登久希子（大阪大学大学院人間科学研究科）
パフォーマンス・アートとその記録—ライブ性の変遷

G会場（会議室3・4） 第二日目 5月31日（日）

- 09:00-09:20 G11 園田浩司（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）
集団猟にみる生活世界—カメルーン東部バカの子どもによる会話の組織化
- 09:25-09:45 G12 岡野英之（大阪大学大学院・日本学術振興会特別研究員 PD）
紛争後シエラレオネに見る国家とインフォーマルな経済活動—国家に接近するバイクタクシー業と全国バイクタクシー協会
- 09:50-10:10 G13 萩原卓也（京都大学大学院人間・環境学研究科）
ケニアにおける自転車競技選手の生活戦略と集団存続の仕組み—体の鍛錬、疲労と回復のサイクルからの一考
- 10:15-10:35 G14 岡本圭史（九州大学大学院）
オカルト的生活世界と暗黙の二元論的宗教観—ケニア海岸地方ドウルマの妖術とキリスト教
- 10:40-11:00 G15 高村美也子（国立民族学博物館）
衰退する民族語に対する復興の試み—タンザニア・ボンデイ社会の事例
- 11:05-11:25 G16 吉田早悠里（名古屋大学）
「もめごと」との向き合い方—エチオピア農村部に位置する一集落の事例から
- 11:30-11:50 G17 杉田映理（東洋大学）
月経はどのように捉えられ経験されるのか—月経対処が開発アジェンダになる中で、ウガンダの事例から考える
-
- 15:30-15:50 G18 平井芽阿里（中部大学）
故郷の神々を抱くということ—本土在住沖縄県出身者の日常的宗教実践
- 15:55-16:15 G19 荒川裕紀（国立北九州工業高等専門学校）
「福男」はいかにして生まれたか—西宮神社十日戎開門神事の歴史的変遷と参加者の語りより
- 16:20-16:40 G20 菅沼文乃（南山大学人類学研究所）
社会状況からみる地域祭祀形態の変化と老年者の祭祀実践—沖縄県都市部 W 地域の事例の報告

H会場（銀杏） 第二日目 5月31日（日）

- 09:50-10:10 H05 兼重努（滋賀医科大学）
定住的村落社会における専門家の移動と文化の伝播—西南中国トン族の民間芸能の事例から
- 10:15-10:35 H06 磯部美里（名古屋大学）
子を産むこと、子を持つこと—中国・西双版纳（シーサンパンナ）タイ族の「貰い子」の事例から
- 10:40-11:00 H07 堀江未央（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）
人の移動と魂の所在—中国雲南省ラフにおける遠隔地婚出
- 11:05-11:25 H08 稲澤努（東北大学東北アジア研究センター）
現代中国におけるエスニック・カテゴリーと文化資源の利用—広東省の水上居民と山地民の事例から 18:00 ラウンドテーブル
- 11:30-11:50 H09 浏览上恭子（日本文化人類学会）
韓中の生殖市場における朝鮮族代理母—韓国人不妊夫婦の代理出産事情
-
- 15:30-15:50 H10 喬旦加布（総合研究大学院大学文化科学研究科）
チベット族とモンゴル族のはざま・トゥ（土）族—青海省同仁県保安地域におけるトゥ族の形成とその文化変容について
- 15:55-16:15 H11 賽漢花（愛知県立大学国際文化研究科）
モンゴル民族の伝統文化と民族教育の現状
- 16:20-16:40 H12 張詩雋（京都大学大学院人間・環境学研究所）
観光と出会った宗教絵画—中国チベット自治区ラサ市におけるタンカに関する文化人類学的研究
- 16:45-17:05 H13 別所裕介（広島大学）
信仰表現としての「五体投地」と倒れ込む「場」—現代チベットにおける民衆的な宗教経験をめぐって